

【22_230思考系メルマガ】調子が良くても悪くても。。。

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

先日、メルマガ読者の方からの質問で、こんな相談がありました。

～～要約～～

調子の波が結構激しく、月初めに利益が沢山出た時は

その利益を溶かさないように、月後半トレードを控えたりしています。

これは、クロさんのいうリスク管理としては正しいのでしょうか？

～～

皆さんはどうでしょうか？

確かに、月はじめから調子が良いと分かれば、調子が良いうちにゴツソリ稼いでおき

月後半は仕事を休みにする。

一度くらいはそんなトレードライフ(?)を想像した人もいると思いますが

結論から言うと、僕はこの考え方はあまり良くないと考えています。

そのことについて話をしたのが、先日のモーニングライブになります。

▼モーニングライブ アーカイブ▼

<https://youtu.be/UbQpFRn5JqM>

『調子』は、良い時も悪い時もある

前提として考えることとしては、当たり前的事なのですが

調子というのは、良い時もあれば悪い時もあります。

実際のトレードの収支というのは、調子の良い月・悪い月・平均的な月が合わさって

年間通じて「大体これくらいの利回り」という平均的な数字に落ち着くものです。

ですから、トレードを『確率論的思考』で行うのであれば

調子が良い月で「ちょっと出来過ぎてるなあ」と思ったとしても、トレード自体はいつも通りに

ペースを変えずやっていくべきなのです。

だって、いつまでも好調が続くわけではないじゃないですか？

いずれどこかのタイミングで、相場と型が合わない月だって必ずやってくるわけで。

その時は、調子が悪いなりに『いつもの動作』をしていくしかないのです

どんな時でも“ペースを崩さない”事が大切です。

究極的には、調子が良かろうが悪かろうが

自分は『いつもの事』をしているだけだと考え、調子の良し悪しで一喜一憂したり

不安がったりしない状態を目指していけると良いですね。